

玉野医療センター新病院建設工事に係る施工予定者選定
公募型プロポーザル
審査報告書

令和4年4月

玉野医療センター新病院建設工事に係る施工予定者選定
公募型プロポーザル審査委員会

玉野医療センター新病院建設工事に係る施工予定者選定公募型プロポーザル審査委員会
は、施工予定者の選定に関し、玉野医療センター新病院建設工事に係る施工予定者選定公募
型プロポーザル公告文及び実施要領に基づき、提案内容等の審査を行い、最優秀提案事業者
(優先交渉権者) を決定しましたので、審査の結果及び審査の講評をここに公表いたします。

令和4年4月1日

玉野医療センター新病院建設工事に係る施工予定者選定
公募型プロポーザル審査委員会

委員長	佐藤	利雄
委員	磯嶋	浩二
委員	山原	茂裕
委員	谷口	秀雄
委員	山上	誠二

1 選定結果

最優秀提案事業者（優先交渉権者）

戸田建設(株)・(株)荒木組・玉野土建(株)建設工事共同企業体（A社）

優秀提案事業者（次点交渉権者）

(株)フジタ 広島支店（B社）

2 審査委員会

審査委員は次の5名により構成されました。（敬称略）

委員長 佐藤 利雄（地方独立行政法人玉野医療センター 理事長）

委員 磯嶋 浩二（地方独立行政法人玉野医療センター 玉野三井病院 病院長）

委員 山原 茂裕（地方独立行政法人玉野医療センター 玉野市民病院 病院長）

委員 谷口 秀雄（地方独立行政法人玉野医療センター 事務部長）

委員 山上 誠二（玉野市役所 副市長）

3 選定までの経緯

令和3年12月6日にプロポーザル公告を行い、参加申請を受け付けたところ、3社（共同企業体含む）の参加申請がありました。

一次審査（書類審査）においては、各事業者の施工実績、有資格技術者数等をもとに評価を行い、3社すべてに技術提案書の提出要請を行うこととしました。

その後、3社のうち1社が技術者等の人員配置が難しくなったことを理由に辞退することとなり、最終的に提案事業者は2社となりました。

二次審査（技術等審査）においては、事前にVE提案（※1）内容の聞き取りを行い、採否の判断をした上で、技術提案書の提出を依頼しました。

本年3月26日にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、審査委員会において5つの課題（※2）に対する提案内容や見積価格等を総合的に評価し、最優秀提案事業者（最優秀交渉権者）及び優秀提案事業者（次点交渉権者）を選定しました。

※1 VE提案

Value Engineering（バリューエンジニアリング）の略で、低コストで機能を向上させ、価値を高める提案のこと。

※2 課題

【テーマA】実施設計段階の実施方針

【テーマB】基本設計への改善提案

【テーマC】 施工段階の実施方針

【テーマD】 工期を遵守するための提案

【テーマE】 地域貢献に関する提案

4 選定スケジュール

区分	項目	日程・期間
公告	プロポーザルの公告	令和3年12月 6日 (月)
	実施要領等のホームページ掲載	
	設計概要書等の配付	
参加資格審査 (一次審査)	質問書提出期限	令和3年12月10日 (金)
	質問書の回答	令和3年12月16日 (木)
	参加申請書の提出期限	令和3年12月23日 (木)
	参加資格審査結果通知 要求水準書・技術提案用資料の配付	令和3年12月28日 (火)
技術等審査 (二次審査)	質問書提出期限	令和4年 1月14日 (金)
	質問書の回答	令和4年 1月21日 (金)
	技術提案書のうち、VE提案提出期限	令和4年 2月18日 (金)
	VE提案提出内容聞き取り	令和4年 2月24日 (木)
	VE提案に対する回答	令和4年 3月 4日 (金)
	技術提案書提出期限	令和4年 3月18日 (金)
	プレゼンテーション・ヒアリング及び審査	令和4年 3月26日 (土)
	審査結果通知	令和4年 3月26日 (土)

5 講評

両提案事業者とも、これまでの豊富な病院建設の実績と経験をもとに、本事業の課題を十分理解し、基本設計の趣旨を踏まえた実現可能な改善案や効果的な取り組み等、総じて水準の高い提案がなされていました。

最優秀提案事業者の戸田建設(株)・(株)荒木組・玉野土建(株)建設共同企業体は、基本設計の内容を踏まえ、各テーマについて具体的な提案がバランスよく示されていました。

テーマA(実施設計段階の実施方針)については、各担当者の役割が明確に示され、課題解決手法、コストコントロール手法等の実施設計を合理的かつ効果的に進めるための支援策が具体的に提案されていました。

テーマB(基本設計への改善提案)については、将来のレイアウト変更にも柔軟に対応できる柱の少ないRCS構造(柱:コンクリート(RC)、梁:鉄骨(S))が提案され、使用性・視認性の高いフレキシブルな平面計画となっていました。

テーマC（施工段階の実施方針）については、VRシステムや三次元CAD等の最新技術を活用し、施工を円滑に進めるための手法や設計変更に対応するための効果的なコスト調整手法が提案されていました。

テーマD（工期を遵守するための提案）については、基礎・地上躯体工事を最適化することで、全体で2ヶ月の工期短縮を図り、十分な開院準備期間の確保が可能な提案となりました。

テーマE（地域貢献に関する提案）については、総額13億4千万円の地元企業への発注額が示され、工事関係者の地元イベントへの積極的な参加、現場見学会の実施等、地域住民との交流機会を創出する提案がなされていました。

優秀提案事業者の(株)フジタ広島支店は、BEI（省エネルギー性能指標）を用いた空調設備の変更提案やエントランスホールの吹き抜け化、将来的な4床室の個室化対応を想定した床下げ提案等、これまでの豊富な経験を生かした魅力的な提案もありましたが、提案内容の具体性に課題があり、惜しくも次点交渉権者となりました。

両提案事業者とも玉野医療センター新病院建設工事についての多大なる熱意を感じることができました。提案書作成に費やして頂いた多大な努力に深く御礼申し上げます。

以上